

国士館100周年創立記念祭

陸上競技部（駅伝）

陸上競技部/駅伝部の歴史と発展

～襷に国士館魂を込めて～

陸上競技部/駅伝部は、昭和31年に金子藤吉教授が初代の部長に就任され陸上競技部を創設しそれと同時に長距離ブロックを作り駅伝に参入している。監督には、服部利夫監督、西山一行監督、五十嵐克己監督やその他数多くのコーチの指導があり現在の活躍がある。駅伝とえば、東京箱根間往復大学駅伝競走大会、全日本大学駅伝競走大会、出雲選抜駅伝競走大会の3大駅伝がある。箱根駅伝の第1回大会が開催されたのが、1920年(大正9年)であり国士館が初出場をしたのが1957年(昭和32年)の箱根駅伝からだ。陸上競技部が創部した年に既に初出場を果たしており、陸上競技部と共に駅伝での活躍をしてきた。全日本大学駅伝には第2回から出場をしており、卒業生の皆様が活躍をして素晴らしい成績を残し国士館をアピールしてきた。

箱根駅伝での最高順位は3位、全日本大学駅伝での最高順も2位となっている。1960年代から1970年代にかけて何度も優勝争いを演じており、特に往路に主力選手を配置し突進を生かした戦い方で強みを発揮し「突進の国士館」と呼ばれた。当時の選手は、卒業後に実業団に進み日本選手権や世界大会、マラソンで活躍をした。1980年以降、出場できなかった年もあり悔しい思いをしてきたがここ近年では強化の成果が徐々に現れてきていると実感している。

駅伝のみならず、トラック種目でも活躍をしており学生のオリンピックと言われるユニバーシアードに多数の選手を送り出し活躍をしてきた。また、世界クロスカントリーやアジア大会、マラソンでの日の丸を背負い国士館代表として魂を込めて戦ってきた。

昨年は6年ぶりに全日本大学駅伝、3年ぶりに箱根駅伝と久しぶりに駅伝に出場する事ができた。両駅伝を同時に出場するのは実に26年ぶりと古豪復活の狼煙を上げることができ、100周年を迎えるにふさわしい節目の年となった。100周年を迎え、大学駅伝の常連校になるのはもちろんだが、駅伝を上位で走る強い国士館ブランドを作り上げたいと考えている。100周年の先に駅伝と言うのは注目度が増すばかりだと感じている。強化を行っている大学が増えているこの時代をいかにして戦い上位進出をするかを念頭に置き精進していきたいと考えている。卒業生の皆様が魂を込めて襷を繋いでくださったからおかげで今の駅伝があると考えている。その魂を消さないよう、強い国士館であり続けなければいけない感じている。100周年を迎えその先に今より強い国士館を作っていかなければならない。

国士館大学陸上競技部 駅伝監督 添田 正美

箱根駅伝・全日本大学駅伝の成績

年度	大会名	成績
1957年(昭和32年)	第33回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第12位
1958年(昭和33年)	第34回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第12位
1959年(昭和34年)	第35回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第11位
1960年(昭和35年)	第36回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第11位
1961年(昭和36年)	第37回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第11位
1962年(昭和37年)	第38回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第10位
1963年(昭和38年)	第39回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第6位
1964年(昭和39年)	第40回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第3位
1965年(昭和40年)	第41回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第4位
1966年(昭和41年)	第42回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第5位
1967年(昭和42年)	第43回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第3位
1968年(昭和43年)	第44回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第6位
1969年(昭和44年)	第45回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第4位
1970年(昭和45年)	第46回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第4位
1971年(昭和46年)	第47回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第4位
1972年(昭和47年)	第2回全日本大学駅伝競走大会	第2位
	第48回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第5位
1973年(昭和48年)	第3回全日本大学駅伝競走大会	第8位
	第49回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第5位
1974年(昭和49年)	第4回全日本大学駅伝競走大会	第3位
	第50回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第6位
1975年(昭和50年)	第51回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第7位
1976年(昭和51年)	第52回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第8位
1977年(昭和52年)	第53回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第12位
1978年(昭和53年)	第54回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第12位
1979年(昭和54年)	第55回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第10位
	第10回全日本大学駅伝競走大会	第11位
1980年(昭和55年)	第56回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第12位
1981年(昭和56年)	第57回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第13位
1982年(昭和57年)	第58回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第10位
1983年(昭和58年)	第59回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第11位
	第1回全日本女子駅伝競走大会	第13位
1984年(昭和59年)	第60回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第13位
	第2回全日本女子駅伝競走大会	第12位
1985年(昭和60年)	第61回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第12位
	第3回全日本女子駅伝競走大会	第10位
1986年(昭和61年)	第62回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第9位
	第17回全日本大学駅伝競走大会	第7位
1987年(昭和62年)	第4回全日本女子駅伝競走大会	第13位
	第63回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第11位
1988年(昭和63年)	第5回全日本女子駅伝競走大会	第11位
	第64回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第7位
1989年(昭和64年/平成元年)	第19回全日本大学駅伝競走大会	第6位
	第6回全日本女子駅伝競走大会	第12位
1990年(平成2年)	第65回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第12位
	第20回全日本大学駅伝競走大会	第8位
1991年(平成3年)	第7回全日本女子駅伝競走大会	第16位
	第66回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第7位
1992年(平成4年)	第22回全日本大学駅伝競走大会	第8位
1993年(平成5年)	第66回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第13位
1994年(平成6年)	第67回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第13位
1994年(平成6年)	第11回全日本女子駅伝競走大会	第12位
1994年(平成6年)	第68回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第14位
1998年(平成10年)	第16回全日本女子駅伝競走大会	第17位
2003年(平成15年)	第21回全日本女子駅伝競走大会	第22位
2004年(平成16年)	第80回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第17位
	第22回全日本女子駅伝競走大会	第16位
2006年(平成18年)	第82回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第19位
2007年(平成19年)	第83回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第19位
2008年(平成20年)	第84回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第13位
2009年(平成21年)	第85回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第11位
2010年(平成22年)	第42回全日本大学駅伝競走大会	第12位
2012年(平成24年)	第88回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第11位
2014年(平成26年)	第90回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第22位
2016年(平成28年)	第48回全日本大学駅伝競走大会	第14位
2017年(平成29年)	第93回東京箱根間往復大学駅伝競走大会	第20位



第88回箱根駅伝2区 伊藤正樹選手



第93回箱根駅伝予選会



第88回箱根駅伝3区 藤本拓選手



住吉秀昭



第93回箱根駅伝10区 渡辺勇人選手



第93回箱根駅伝国士館大学ロゴ



第93回箱根駅伝1区～2区へ



第88回箱根駅伝3区～4区へ



第88回箱根駅伝9区 鈴木卓也選手



第90回箱根駅伝10区 堀合修平選手



第90回箱根駅伝3区 武藤健太選手



第90回箱根駅伝1区 浪岡健吾選手

